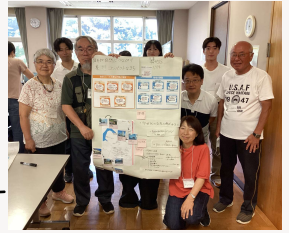


誰もが自然につながり 集うコンパクトなまち



- いとう
- うだがわ
- てらじま
- なりた
- やまだ

千葉大学ファシリテーター
◆ かすが ◆ にしうち



自分にとって大事な行動と場所

趣味

市外から観光客を呼び込む貴重な観光スポット。お花見もできる。



国立歴史民俗博物館

話し合い、神社役員会

集会施設として機能している。比較的安価にコピー機を利用できる。



中央公民館

ボランティア

佐倉市および佐倉地区のシンボル。庁舎には歴史的建物としての価値がある。



佐倉市役所

社会参加、研修、町内会

京成佐倉駅の近くにあり、立地が良い。多くの人が集まる場所。



ミレニアムセンター

読書、仕事の資料収集

紙の本を読む図書館は貴重な場所。子育て支援施設も入っている。



夢咲くら館

地域の課題

多世代交流の場が必要

高齢化が進めば、近隣同士のコミュニティや助け合いがより重要になる。交流の場が必要。



地域全体

多目的に使える集会施設が台地でない

比較的アクセスしやすい台地のエリアに、会議や趣味に使える集会施設が少ない。



集会施設

集会施設の必要性の低下

佐倉地区には多くの集会施設がある。人口が減っていくなか、これほど多くの施設が必要か。



集会施設

小学校が地域に開かれていない

小さな子や孫がいない世帯にとって、小学校は縁遠い存在。高齢者が気軽に行けない。



小学校

公園がコミュニティの場になっていない

公園に日かげが少なく、施設にも魅力がないため、親子や近隣のコミュニティの場になっていない。



佐倉地区の公園・遊び場

老朽化施設が多く、集約が必要

佐倉地区は施設が点在し、その多くが老朽化している。アクセスしやすい場所に集約してよいのでは。



佐倉地区の公共施設

優先的に解決したい課題

- ・ 多世代が交流できる場が少ない
- ・ コミュニティの拠点になるような魅力のある場所（施設や公園）が少ない（魅力のない施設、日かげのない公園など）

コンセプト

点在している老朽化した施設の集約化

- ・ 佐倉地区は昔から多くの公共施設が整備されてきたため、施設が点在し、その多くが老朽化している。
- ⇒ 誰もがアクセスしやすい場所に集約化し、課題を解決！

解決の具体アイデア

1 地域の人が利用しやすい「小学校」に、周辺の老朽化した施設の機能を集めて、**複合施設**に

- ・ 小学校の多くは、周辺地域の子供が歩いて通える場所にあり、地域の人にとっても利用しやすい場所。
 - ・ 少子化で今後増える空き教室を放課後や週末に地域住民に開放したり、他の公共サービス機能（例えば公民館の集会機能）を移転して複合化する。
- （さらにアイデア!）
- ・ 校庭に「巨大なサンシェード」を設置して夏季でも利用しやすくする、学校プールを地域に開放する など

2 「ヤングプラザ」の機能を「ミレニアムセンター」に集約し、**多世代交流の拠点**に

青少年が気軽に集える場



ヤングプラザ【築53年】

地域のコミュニティ拠点



ミレニアムセンター【築24年】

（さらにアイデア!）

現在の観光案内所は、駅前の好立地を生かし、成田空港拡張で今後も増加が見込まれるインバウンド向けの観光案内所として整備・充実を図る。



大人から子供まで利用



市民体育館【築45年※】
※令和8-9年度に全体改修を計画

総合的なスポーツ・レクリエーション拠点



岩名運動公園【築44年】



佐倉小学校への機能集約・複合化イメージ

佐倉新町おはやし館【築33年】



中央公民館【築49年】



レインボープラザ佐倉【築54年】

- ・ 高齢者福祉作業所
- ・ 市民公益活動サポートセンター
- ・ シルバー人材センター事務局別館
- ・ シルバーワークプラザ



佐倉地区



佐倉小学校【築53年】



佐倉老幼の館【築42年】



公共施設の活用を考える際の大前提

移動弱者（高齢者、障がい者等）を取り残さないまちにする！（コミュニティバスなどの移動支援サービスの充実 等）

